

報告事項ト

平成24年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について

平成24年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成24年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成24年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について

文化財課

1 被表彰者

表彰分野	氏名	主要経歴
文化財保護	ほうぎしょうぶつなほぞんかい 宝木菖蒲綱保存会	昭和62年国重要無形民俗文化財に指定 平成8年鳥取県教育委員会表彰

2 被表彰者の功績概要

宝木の子供たちが例年行っている国指定重要無形民俗文化財「因幡の菖蒲綱引き」の保存、調査・記録並びに援助を目的に、保存会が昭和61年に設立された。以来26年にわたり、伝統行事の保全と継承に尽力し、地域の文化財保護に貢献している。

3 表彰式

(1) 期日 平成24年11月15日(木)

(2) 会場 文部科学省3階 第1講堂

4 表彰の概要

(1) 趣旨

芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等、地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対し、その功績をたたえるもの。

(2) 表彰者

文部科学大臣

【参考】

宝木菖蒲綱保存会以外の鳥取県推薦の被表彰者

表彰分野	氏名	年齢	主要経歴
芸術文化 (文化観光局推薦)	ゆうき みのる 由木 稔	79歳	俳人 鳥取県俳句協会会長 俳人協会鳥取県支部常務理事

被表彰者の略歴及び主な功績

文化財保護分野：宝木菖蒲綱保存会（ほうぎしょうぶつなほぞんかい）

宝木地区で毎年6月第2日曜日に行われている菖蒲綱引きは、子ども達を中心に保存・伝承されてきた五月節供の伝統行事である。

保存会は、昭和61年に設立されて以来、今日に至るまで、国指定重要無形民俗文化財「因幡の菖蒲綱引き」の保存・伝承に努め、地域文化の振興に多大な貢献をしている。

昭和59年に国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、昭和61年度に実施された活動を調査記録し、報告書を刊行している。

その功績は極めて顕著であるため、平成8年には鳥取県教育委員会表彰も受けている。